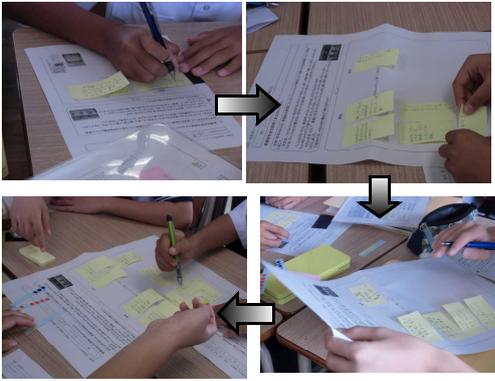


授業実践

(ウ) 第3時：学習目標：循環型社会の実現について考える。

《ALの視点》 主：主体的な学び 対：対話的な学び 深：深い学び

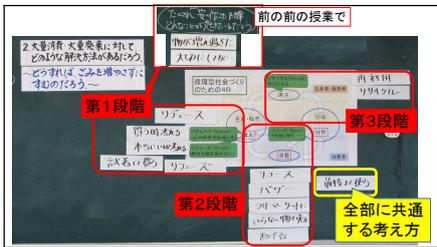
学習活動	形態	AL	教師の支援と手立て	評価と方法
1 前時の授業を振り返る。	斉		○前時の学習を振り返らせた。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 本時のめあて：循環型社会はつくれるのだろうか。 </div>				
2 どうすれば循環型社会が実現するのか考える。			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 第1時目 ○たくさん安い物を作った結果、どんな事が起きているだろうか？ ○たくさん物を捨てた結果、どんな事が起きているだろうか？ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 2px;"> 第2時目 ○ごみを増やさないためには、どうしたらよいだろうか？ ○循環型社会と4R </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 2px;"> 第3時目：今日は、前回2回分の学習をもとに、考えていきましょう。 </div>	
(1) ファストファッションを取り上げた実践的な応用問題に取り組む。	個		<プレゼンテーションソフト資料>	
	↓		○実践的な応用問題に取り組みせることで、既習の学習内容や個別の知識と実践をつなげさせた。	
	↓		○リサイクルやリユースをすればよいという消費者の安易な考えに気付かせた。	
	↓		○付箋を使いながら班での対話的な活動を行う。あえて反対か賛成かを伝え合うことで、お互いの意見を比較検討しやすくした。	
	斉			
	対 深			
<話し合い活動の様子>			<付箋とカラーシールを使って話し合っている様子>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> OTシャツ1枚の分の綿花を生産するには スプーン10杯(約30g)の農業が必要 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> Oジーンズ1枚の分の綿花を生産するには 800リットルの水必要 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> リサイクルすると、この「農業」や「水」は不要 </div>			○揺さぶるための視点 <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の95%は安い製品を輸入。 ・リサイクルに掛かる費用以外に回収のための費用が必要。 ・アジアやアフリカに送っても、活用されてない物も多い。 	既習の学習事項を基に循環型社会の実現のための課題に気づき、その解決方法を実際の消費行動と関連付けて考える。【工
<プレゼンテーションソフト資料>				

- ・衣服をリサイクルすると、綿花を生産するときの農薬と水は不要。
- 「安価な商品は買ったらだめなのか」など、消費者の本音を引き出した。

夫・創造ア】
(行動観察、ワークシート)

<生徒から出た考え>
Aさんに反対
・フリーマーケットに出しても売れると限らない。
・捨てることになるかもしれない。
・お金ももったいない。
・回収しても利用されないかもしれない。
・これからもリサイクルすればよいと簡単に考えてしまう。
・実際は、服のリサイクル10%。
Aさんに賛成
・回収ボックスに入れるからよい。
・使わなくなったことを考えていけばよい。
・服をなかなか買えない人にとってはよい。
・リサイクルすればごみは減らせる。

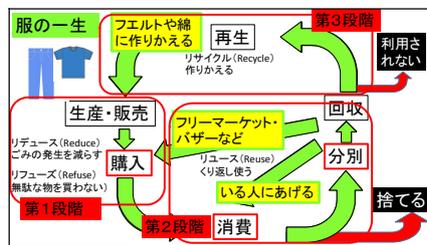
(2) 物の一生を考える。



<プレゼンテーションソフト資料>

個
↓
斉

- 具体的に物の一生を考えることで、4Rと実際の生活をつなげさせた。



<プレゼンテーションソフト資料>

3 本時の学習を振り返る。

- リサイクルやリユースすればよいというのは安易な考えであることに気付き、4Rと実際の消費生活を具体的に関連付けて考える。

個
↓
斉

- その時々で、どのような行動を取るべきかを考えさせた。

<生徒の振り返り>
・各自が考えていけば循環型社会はつくられる。
・リサイクルすればよいと思えない。
・長く使う前提で買う。
・リサイクル、リユースもいけれど最後まで使い切ることが大切。
・自分が買った物は自分が最後まで使う。
・多く買うとごみになるものも多くなる。

4 次時の学習の見通しをもつ。

斉

- 「Tシャツの自動販売機」や「我が

家の長く大事に使っている物の集計結果」について触れ、次時への意欲を高めさせた。

技術・家庭科ワークシート「身近な消費生活と環境③」

() 班：メンバー ()

循環型社会は実現できるのだろうか。

中学1年のAさんは、家庭科の時間にファストファッションが関係している様々な社会問題について学習しました。次の日、ファストファッション店のチラシが入ってきました。欲しい服が安く載っています。でもやっぱり、ファストファッションは買わない方がいいよねと迷っているとき、よいことを思いつきました。

「いらなくなったら、回収ボックスに入れば、むだにならないはず！ペットボトルやアルミ缶だってそうしているし、フリーマーケットに出してもいいよね！」Aさんはほっとして、家族にそのファストファッション店に買い物に連れて行ってもらうことにしました。

○あなたは、Aさんの行動をどう考えますか？

技術・家庭科ワークシート「身近な消費生活と環境③」

() 班：メンバー ()

循環型社会は実現できるのだろうか。

中学1年のAさんは、家庭科の時間にファストファッションが関係している様々な社会問題について学習しました。次の日、ファストファッション店のチラシが入ってきました。欲しい服が安く載っています。でもやっぱり、ファストファッションは買わない方がいいよねと迷っているとき、よいことを思いつきました。

「いらなくなったら、回収ボックスに入れば、むだにならないはず！ペットボトルやアルミ缶だってそうしているし、フリーマーケットに出してもいいよね！」Aさんはほっとして、家族にそのファストファッション店に買い物に連れて行ってもらうことにしました。

○あなたは、Aさんの行動をどう考えますか？

技術・家庭科ワークシート「身近な消費生活と環境③」

() 班：メンバー ()

循環型社会は実現できるのだろうか。

中学1年のAさんは、家庭科の時間にファストファッションが関係している様々な社会問題について学習しました。次の日、ファストファッション店のチラシが入ってきました。欲しい服が安く載っています。でもやっぱり、ファストファッションは買わない方がいいよねと迷っているとき、よいことを思いつきました。

「いらなくなったら、回収ボックスに入れば、むだにならないはず！ペットボトルやアルミ缶だってそうしているし、フリーマーケットに出してもいいよね！」Aさんはほっとして、家族にそのファストファッション店に買い物に連れて行ってもらうことにしました。

○あなたは、Aさんの行動をどう考えますか？

技術・家庭科ワークシート「身近な消費生活と環境③」

() 班：メンバー ()

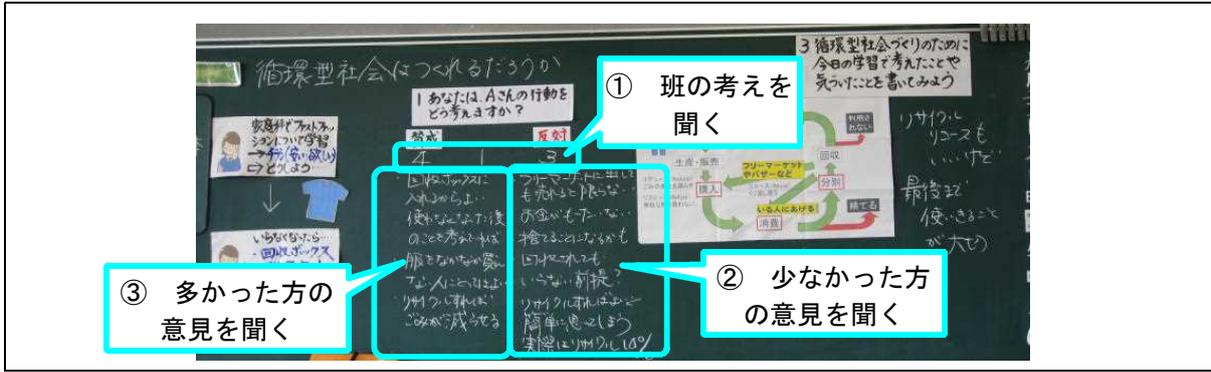
循環型社会は実現できるのだろうか。

中学1年のAさんは、家庭科の時間にファストファッションが関係している様々な社会問題について学習しました。次の日、ファストファッション店のチラシが入ってきました。欲しい服が安く載っています。でもやっぱり、ファストファッションは買わない方がいいよねと迷っているとき、よいことを思いつきました。

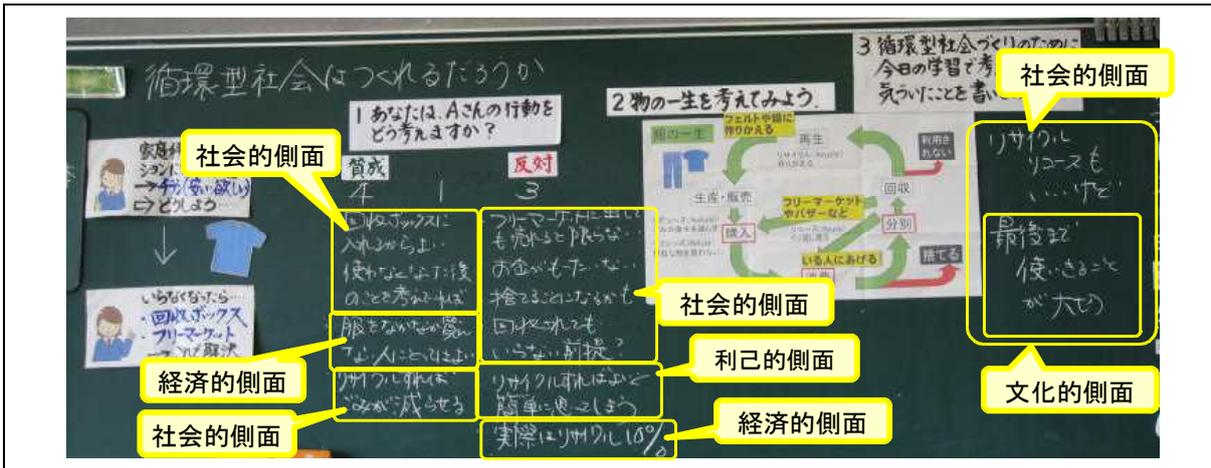
「いらなくなったら、回収ボックスに入れば、むだにならないはず！ペットボトルやアルミ缶だってそうしているし、フリーマーケットに出してもいいよね！」Aさんはほっとして、家族にそのファストファッション店に買い物に連れて行ってもらうことにしました。

○あなたは、Aさんの行動をどう考えますか？

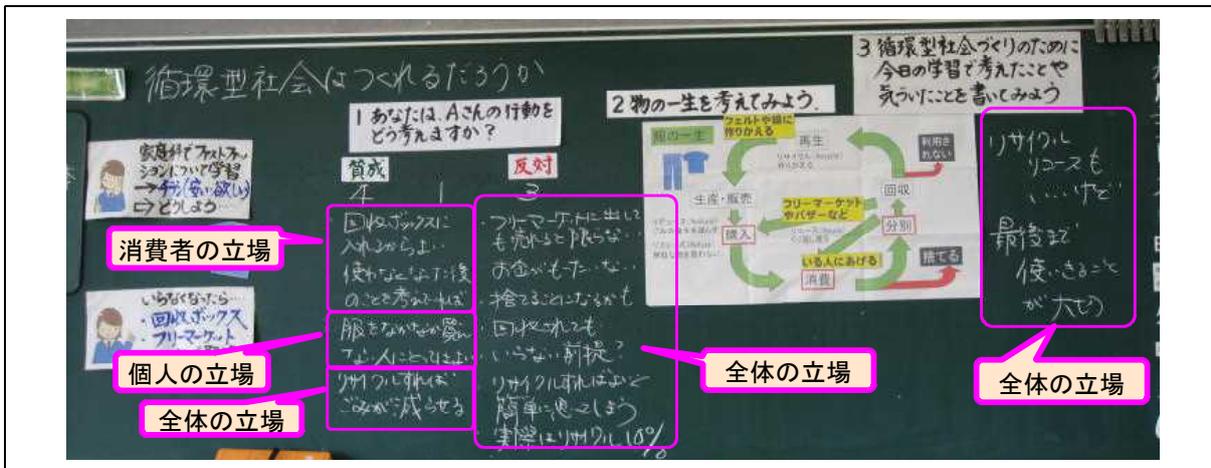
資料1 3時の話し合い活動で使った台紙



資料2 3時目板書



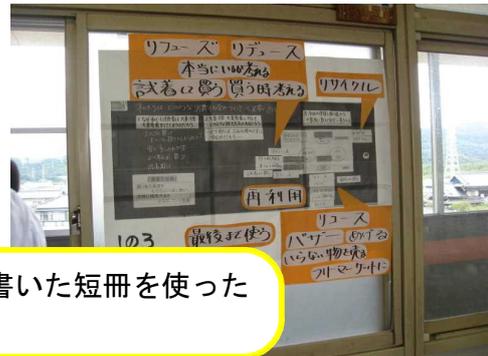
資料3 生徒から出た多面的な見方 (3時目板書)



資料4 生徒から出た多角的な見方 (3時目板書)



資料5 1時目振り返り用掲示物



資料6 2時目振り返り用掲示物



話し合い時に各班に配布

資料7 話し合いの進め方カード

1 個人で考える。…ふせん(2枚ずつ)に書く。

2 班で考える。

①1人ずつ読みながら、班の台紙に貼る(上)。
☆じゃんけんで勝った人から時計回りに。

②【班での話し合い方】を見ながら進める。

3 代表者が発表する。

班で考えを交換し合った後、もう一度自分の考えを整理することで、話し合い活動の価値付けをさせる。

【1 個人で考える】

①Aさんに「賛成」か「反対」か○で囲む。

②「賛成」「反対」の理由をふせんに書く。(2枚1組)

あなたは、Aさんの行動をどう考えますか？

(例) 賛成 反対

【2 班で考える】

①ふせんに書いていることを読みながら台紙にはる。

②同じような考えどうしグループ分けし、貼りなおす。

③線で囲って名前をつける。

④自分の考えと比べ、考えを伝え合う。
※理由を言いながらシールをはる。

⑤班の考えをまとめる。※多い意見を赤で囲む。
※新しく出た言葉やまとめの言葉を台紙に書き加える。

【3 個人でもう一度考える】

①自分のワークシートの「賛成」「反対」を見直してみる。

考えが変わらない場合

賛成 反対

赤ペンで上からなぞる

理由をふせんに書いて貼ろう

【3 個人でもう一度考える】

①自分のワークシートの「賛成」「反対」を見直してみる。

みんなの意見を聞いて考えが変わった場合
(例:「賛成」から少し「反対」の方へ)

賛成 反対

ちょっと右に赤ペンで○をつける

理由をふせんに書いて貼ろう

資料8 3時目 話し合いの進め方(プレゼンテーションソフト資料)